中秋 9月

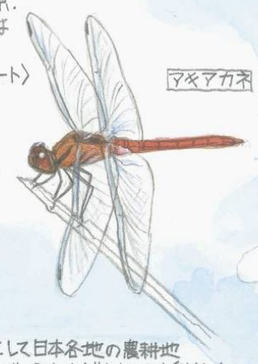
◦秋空にモズの高鳴きが響くころ —— 草はらのいきものたち

かつては武蔵野の草はらが広がっていた目黒区。駒場野、向原、月光原…むかしの地名がその面影を伝えています。大きな草はらは少なくなりましたが、人の踏み込まない場所には、今でも草たちが背を伸ばし、昼はバッタたちの〈運動会〉、夜は鳴く虫たちの〈コンサート〉が開かれます。

・中目黒公園
①花とみどりの学習館
②原っぱ
③いきもの池
④健康とスポーツの広場
⑤いこいと展望の広場

・モズの高鳴き　こんな出会いも。　キチキチキチ…『原っぱ』の残る中目黒公園では、秋の風物詩モズの高鳴きが聞かれる。農地や原っぱなどの生息環境が少なくなって目黒区では珍しい鳥に。

モズ　スズメ目モズ科。　留鳥として日本各地の農耕地など開けた場所に生息。バッタ、トカゲなどの小動物や時にはスズメなどの鳥も捕食することから小さな猛禽類と呼ばれる。捕った獲物をとがった枝に刺した保存食がモズの〈はやにえ〉。目黒区では冬鳥。　スズメより大。

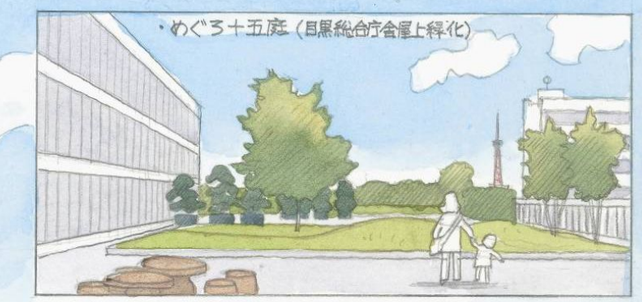


アキアカネ

サシバの渡り。
東南アジアで越冬。

渡るマヌマツバメ。

南へ向かうヒヨドリの群れ。



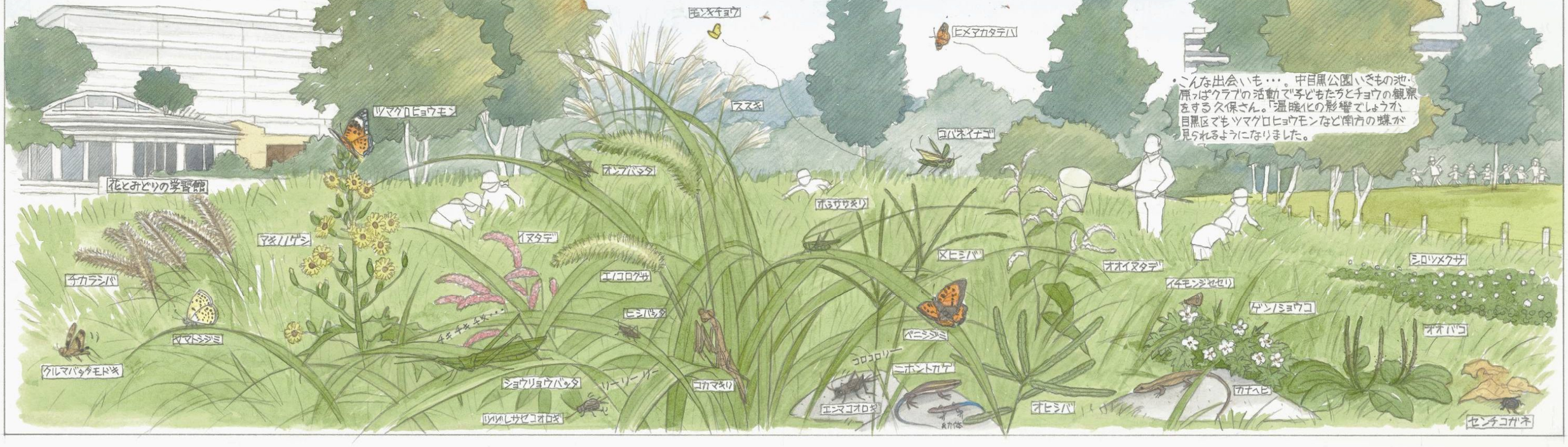
・めぐろ十五庭（目黒総合庁舎屋上緑化）

・近年増えている草原（屋上緑化）…野鳥やチョウ、トンボ、バッタなど、空中庭園は千客万来！

列になって飛がカワウ。

アオサギ

モズ



モンキチョウ

ヒメカタテバ

エゾビタキ

コサギ

カルガモ

・こんな出会いも…。中目黒公園いきもの池・原っぱクラブの活動で子どもたちとチョウの観察をする久保さん。「温暖化の影響でしょうか、目黒区でもツマグロヒョウモンなど南方の蝶が見られるようになりました。